

● 草の根パートナー型

2015年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	南アフリカ共和国
2. 事業名	有機農業塾を拠点とした農村作り
3. 事業の背景と必要性	南アフリカ共和国の遠隔地域は、歴史的背景により住民主体の農村が未発達なため、食糧自給率が低く生活は困窮している。また若者が自活する場がなく、地域は衰退している。現行事業では、環境に適した有機農業を学校菜園を中心に促進してきた。その結果、活動は定着し、家庭菜園を始める子供や就農を目指す若者が育ち、地域に有機農業が促進された。彼らを将来の有機農業リーダーとして育成していくため、また菜園をより広く普及し地域の食糧自給率を上げるためには、活動拠点を学校から、地域に開かれた「学びの場」に移し、様々な年齢層の住民への直接的で個別的な指導が必要である。提案事業では、有機農業塾を設立し、そこを拠点に人を育て農村作りを目指していく。
4. プロジェクト目標	有機農業塾を拠点として対象地域に有機農業が定着・発展することで、地域住民の生活が向上する。
5. 対象地域	南アフリカ共和国クワズルーナタール州ウムズンベ自治区コロコロ地域およびトフェット地域、
6. 受益者層（ターゲットグループ）	コロコロ地域 中央部家庭約100軒/学校7校の生徒家庭/保育園3園 トフェット地域 中央部家庭約100軒/学校7校の生徒家庭/保育園2園
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機農業塾が対象地域の拠点として機能している。 2. 事業対象者が基礎的な知識と技術を習得し畑作りを行っている。 3. 収穫物が有効に利用され余剰分が売られる。 4. 事業対象者の中で就農できる人材が育つ 5. 地域内での協力体制の確立し、有機農業への認識と理解が広がる。 6. 事業対象者と日本の学生の交流による相互の学び合いが行われる。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機農業塾の設立と運営を目指した活動 2. 事業対象者の食糧保障・自給を目指した活動 3. 収穫物の有効利用と販売による収入を目指した活動 4. 就農に向けた人材育成の活動 5. 地域内での有機農業の認識を高める活動 6. 日本の教授・学生の現地訪問
8. 実施期間	(西暦) 2016年7月～2019年4月 (2年9ヵ月)
9. 事業費概算額	38,097千円
10. 事業の実施体制	現地：プロジェクトマネージャー1名、農業指導員3名、専門家1名、講師若干名、【カウンターパート・サポート機関】州環境省、URDO（現地NGO）、ウムズンベ区役所、州教育省ムタルメ学区、州農業省ウムズンベ支部、ESAYIDI専門学校農業部門 国内：調整員、広報、会計、監査（TAAA） アドバイザー1名（東京農業大学）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人アジア・アフリカと共に歩む会
2. 活動内容	1992年より南アフリカの貧困地域の学校を対象に教育支援を行う。主な支援事業：学校図書、学校・コミュニティ菜園、スポーツ課外活動振興。